

# 「上場制度の改善に向けたディスカッション・ペーパー」の概要

平成18年4月21日

(株)東京証券取引所

# 趣旨・今後の予定

- 東京証券取引所は、上場会社における活力ある企業行動と投資者保護の確保のための上場制度の調和を推進することにより、市場に対する投資者の信頼の向上と国際競争力の強化を図ることが重要な責務のひとつであると考えています。
- とりわけ、上場会社において十分に整備された経営管理体制の下で社会的責任に照らして健全な経営が行われ、かつ、それが分かりやすく開示されることにより、株主・投資者が上場会社を信頼できる環境が整備されることが大切であると考えられます。
- 東京証券取引所では、この目的を達成するための方策として考えられる基本的な検討事項を、「健全性の確保」、「透明性の向上」、「不正行為の未然防止に向けた監視体制の強化」という側面から以下のようにディスカッション・ペーパーの形で整理いたしました。上場制度の改善に向け、当ディスカッション・ペーパーで提起した諸課題に対して幅広い関係者からの意見を求め、寄せられた皆様の意見を踏まえて具体的な方策をまとめていきたいと考えています。関係各位のご意見、ご指摘をお願いするものです。
- 4月28日までパブリックコメントという形で投資者をはじめ広く内外の関係各位のご意見を募り、今後頂戴したご意見を参考として、ディスカッション・ペーパーで提示した内容を中心に、速やかに実行すべきもの、具体案の作成に向け検討を進めるべきもの、当面基礎的な研究を継続すべきものに分類し、5月を目途にこれを実行計画としてとりまとめることを予定しています。

# 健全性の確保

## ① 企業行動と市場規律の調和

- ・ 著しく低い投資単位に変更することを目的とした株式分割及び1単元の株式数の変更の取扱い
- ・ 望ましい投資単位の額及び関連する上場規則の見直し
- ・ 上場会社が行う企業行動において、上場会社が尊重すべき事項の明確化
- ・ 株主の権利に影響のある企業行動を決定する場合の透明性の向上

## ② 既上場会社に対する経営管理面の確認の継続

- ・ マザーズ上場会社の成長段階に合わせた体制整備の確認
- ・ 改善報告書の記載内容に関する点検制度の整備
- ・ 組織再編その他の経営体制等の大幅変更に対する点検制度の整備
- ・ 法令違反により企業の内部統制等に問題が生じている場合の対応策の導入
- ・ 親会社からの独立性に関する開示内容等の強化及び開示内容の点検の実施

## ③ 公認会計士との連携強化

- ・ 公認会計士へのヒアリング等に関する上場会社の協力義務の拡大

#### ④ 上場制度全般に係る検討課題の整理

- 適時開示の基準について検討すべき点があるのではないか
- 新興企業向け市場（マザーズ）の位置づけを整理する必要があるのではないか
- 実情に合わせて上場廃止基準を見直すべき点があるのではないか
- 親会社を有する上場会社における、コーポレート・ガバナンスの強化等が必要ではないか
- 上場会社のチェックにあたっては公認会計士の果たす役割が大きく、その役割に応じた制度の見直しが必要ではないか
- 不適切な開示や証券取引法違反については、機動力があり実効性のある制裁措置が必要ではないか
- 上場廃止されてもなお経営が存続する会社に対し、東証市場とは別に最低限の流通の場を提供する必要があるのではないか

# 透明性の向上・監視体制の強化

- 透明性の向上
  - ・ 株式交換、株式移転、合併、会社分割（承継）に関する開示内容の充実
  - ・ 株式、新株予約権又は新株予約権付社債の発行に関する開示内容の充実
  - ・ 業績予想における背景についての説明の充実及び適切な修正開示の実施
  
- 不正行為の未然防止に向けた監視体制の強化
  - ① 証券取引等監視委員会との連絡体制の強化
  - ② 公認会計士協会との共同プロジェクトに基づく施策の推進
  - ③ 上場審査・上場管理業務の自主規制委員会への付議
  - ④ その他